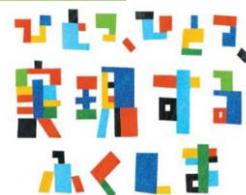


令和5年度 地域医療体験研修 報告集

開催日 令和5年8月23日（水）～25日（金）



福島県会津保健福祉事務所
福島県南会津保健福祉事務所

目次

	ページ
1 実施要項	1
2 スケジュール	2
3 会津の伝統工芸体験	3
4 西会津町・西会津診療所職員による講義 & 郷土料理の調理実習	4
5 参加学生の交流（宿泊）	6
6 奥会津在宅医療センター 在宅訪問診療の同行研修	7
7 只見町ブナセンターの見学	9
8 只見町朝日診療所医師による事例検討会・施設見学	10
9 地元医師との交流会（宿泊）	11
10 南会津消防署 施設見学・職員による講義	12
11 南会津病院 医師による講義・症例検討	13
12 研修のまとめ・発表	14
13 南会津病院 施設見学	15
14 参加者の感想・アンケート集計結果	16

1 実施要項

- 1 研修の目的
地域医療に関心を持つ医学生を対象に、地域医療等の現状視察や地域住民等との交流などの場を提供し、過疎・中山間地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。
- 2 開催日
令和5年8月23日（水）～8月25日（金）〔2泊3日〕
- 3 対象者
地域医療に関心を持つ医学部学生（学年不問）
- 4 参加者
14名
- 5 研修地
野沢民芸品製作企業組合、西会津公民館、奥会津在宅医療センター（訪問診療同行）、只見町ブナセンター、只見町国保朝日診療所、南会津消防署、福島県立南会津病院
- 6 宿泊場所
つきみが丘町民センター（柳津町）、季の郷湯ら里（只見町）

2 スケジュール

月日	行 程	場 所
8月23日（水）	会津の伝統工芸体験	西会津町 野沢民芸品製作企業組合
	西会津町・診療所職員による講義 & 郷土料理の調理実習	西会津町 西会津公民館
	参加学生の交流（宿泊）	柳津町 つきみが丘町民センター
8月24日（木）	在宅訪問診療の同行研修	三島町 奥会津在宅医療センター
	只見町ブナセンターの見学	只見町 只見町ブナセンター
	医師による事例検討会・施設見学	只見町 只見町国保朝日診療所
	地元医師との交流会（宿泊）	只見町 季の郷湯ら里
8月25日（金）	施設見学・職員による講義	南会津町 南会津消防署
	医師による講義・症例検討	南会津町 福島県立南会津病院
	研修のまとめ・発表	
	施設見学	

3 会津の伝統工芸体験

【 日 時 】 8月23日（水） 10：30～11：50

【 場 所 】 西会津町 野沢民芸品製作企業組合

【 目 的 】 会津地域で長年培われてきた伝統工芸とのふれあいを通して、地域の歴史や文化についての理解を深める。

【 内 容 】

1 野沢民芸代表理事 早川美奈子様よりご説明

◎組合の事業内容や沿革について、また、今回絵付け体験を行う起き上がり小法師の会津での歴史や風習についても説明をいただきました。

2 起き上がり小法師の絵付け体験

◎早川様のご指導のもと、起き上がり小法師の絵付け体験を行いました。



参加者の声（アンケート等より）

- 起き上がり小法師のルーツや込められた想いを学ぶことができた。
- 普段触れることのない会津の伝統工芸を体験できて良かった。
- 絵付けは思った以上に難しく、職人さんの技術を肌で感じる事ができた。
- 今回教えていただいた起き上がり小法師の精神を基に何事も努力して行きたい。

4 西会津町・西会津診療所職員による講義 & 郷土料理の調理実習

【 日 時 】 8月23日（水） 13:00~17:00

【 場 所 】 西会津公民館

【 目 的 】 西会津町の健康づくり事業や医療・介護との連携の取り組みについて学ぶ。また、郷土料理の調理実習を通して、地元住民との交流を図り、地域への理解を深める。

【 内 容 】

1 講義

(1) 西会津町職員による講義

・講師：西会津町健康増進課 二木 美津子 保健師係長

◎「西会津町における健康のまちづくり」のテーマで、町のこれまでの健康づくり事業の沿革や、現在の取り組み内容（ex：「さすけねえ輪」の健康づくり）について説明をいただきました。

(2) 西会津町国保診療所職員による講義

・講師：西会津町国保診療所 田崎 美記子 医療介護相談員

◎「医療介護相談員」の役割や、相談員の業務の観点から見た地域医療の取り組みについて説明をいただきました。



参加者の声（アンケート等より）

- からだの健康、心の健康、つながりの健康に着目した健康づくりの取り組みを知って素敵な活動だと思った。
- 西会津特有の健康づくり、地域包括ケアを学ぶことができた。また、町の保健師さんから話を聞く機会はほとんど無いので貴重な経験になった。
- 地域と医療と介護の関わりが理解できた。また、地域における情報共有の重要性を感じた。
- お話をいただいたお二人の活躍を見て、自分も地元の福島で長く元気に働きたいと思った。

2 郷土料理の調理実習

- 実習指導：西会津町健康増進課 物永 葉子 主任専門管理栄養士
西会津町食生活改善推進員の皆様3名

◎物永様より、こづゆをはじめとする会津の郷土料理について、また、減塩の推進など栄養バランスも考えながら伝統を継承していくことの重要性についてお話をいただきました。

◎西会津町より3名の食生活改善推進員の方にもご指導をいただき、こづゆの調理を行いました。調理実習を通して学生との交流をさせていただきました。



参加者の声（アンケート等より）

- 西会津町の伝統食と減塩食への取り組みそれぞれについて学べた。
- 自分たちでこづゆを作り、体に優しい味付けで素材の味や食感を楽しむことができ、郷土料理の魅力やその文化についても知ることができた。
- 地元の方々と交流できて良かった。また、食を通しての健康づくりの視点を学ぶことができて良かった。
- 話を聞くだけでなく、実際に会津の郷土料理に触れることができて理解が深まった。
- 今度自分の家族にも作ってみたい。

5 参加学生の交流（宿泊）

【 日 時 】 8月23日（水） 18：30～19：30

【 場 所 】 柳津町 つきみが丘町民センター

【 内 容 】 参加者全員で自己紹介を行い、学生同士の交流を深めました。



6 奥会津在宅医療センター 在宅訪問診療の同行研修

【 日 時 】 8月24日（木） 9：00～13：30

【 場 所 】 三島町 奥会津在宅医療センター

【 目 的 】 患者宅へ訪問診療の同行研修を通して、業務の内容や地域の実情
また、当地域におけるセンターの役割や在宅医療の重要性について
理解を深める。

【 内 容 】

1 センター医師による事前オリエンテーション

- ・会津医療センター総合内科学講座 特任教授 鎌田 一宏 医師

◎訪問診療の研修実施にあたり、鎌田先生より血圧測定や聴診などの診察のポイントについてレクチャーをいただきました。



2 在宅訪問診療への同行研修

◎複数の班に分かれ、在宅訪問診療へ同行をさせていただき、センタースタッフの皆様のご指導のもと、実際に聴診もさせていただきました。

今回、学生のお受け入れにご協力をいただいた皆様におかれましては、心より御礼申し上げます。



参加者の声 (アンケート等より)

- スタッフの方と患者さんの距離の近さに信頼関係を感じた。患者さんの肩に手を置いて目を合わせて話をする様子がとても印象に残った。
- 今回大学に入学してから初めて患者さんと触れ合い、様々な事に気を配って診る事の大切さを学んだ。
- 診察の様子をみてとてもあたたかさを感じた。自分も将来このように患者さんとコミュニケーションがとれるような医師になれるよう、経験を積んでいきたいと思った。
- 初めての診察だったが、慣れない手つきでも優しくご対応をいただき心から感謝しています。
- 普段座学では学べない現場を体験できて大変刺激になった。またこの地域に来たい。
- 漠然としていた地域医療への憧れがよりはっきりしたものになった。

7 只見町ブナセンターの見学

【 日 時 】 8月24日（木） 14：30～15：30

【 場 所 】 只見町ブナセンター

【 目 的 】 只見町ブナセンターの見学を通して、奥会津地域の豊かな自然やそこで暮らす人々の生活様式について理解を深める。

【 内 容 】

1 施設見学

◎センター専門指導員の吉岡義雄様にご説明をいただきながら、施設内の見学を行いました。



参加者の声（アンケート等より）

- ・只見町を訪れるのは初めてだったが、豊かな自然と素敵な文化について詳しく説明をいただき、只見町の魅力をととても感じた。
- ・失われつつある自然や生態系がこの地域には残っていて素晴らしいと思った。
- ・指導員の方に説明いただいた内容が熱意と愛にあふれていてとても面白かった。
- ・もっと施設内の見学を試してみたかった。

8 只見町朝日診療所 医師による事例検討会・施設見学

【 日 時 】 8月24日（木） 15：45～17：30

【 場 所 】 只見町国保朝日診療所

【 目 的 】 診療所医師による事例検討や施設見学を通して、当地域における診療所の役割や関係機関との連携の重要性、またへき地医療に必要な考え方について理解を深める。

【 内 容 】

1 医師による事例検討会

・朝日診療所 若山 隆 所長

◎若山所長が今までに経験された事例をもとに、課題検討を行いました。学生間で積極的なディスカッションが行われました。

2 施設見学

◎若山所長にご案内をいただき、診療所内の見学を行いました。



参加者の声（アンケート等より）

- ・地域医療特有の、患者の生活面、心理面、環境面での問題を考えることができて良かった。
- ・単純な疾病の解決にとどまらず、家庭環境なども注視することが重要だと感じた。
- ・グループワークでは皆と意見交換ができて色々な考え方を取り込むことができた。
- ・診療所を見学して病院との違いも理解できた。診療所でありながら様々な設備が整っており、この地域でいかに医療の要を担っているかを知ることができた。

9 地元医師との交流会（宿泊）

【 日 時 】 8月24日（木） 18：30～

【 場 所 】 只見町 季の郷湯ら里

【 内 容 】 南会津地域で従事されている医師の方々にご出席をいただき、学生との交流、意見交換を行いました。

《ご出席》 南会津病院 佐竹 秀一 医師
朝日診療所 山並 寛明 医師



10 南会津消防署 施設見学・職員による講義

【日時】 8月25日（金） 9:00～9:50

【場所】 南会津消防署（南会津地方広域市町村圏組合消防本部）

【目的】 地域の救急搬送体制を担う南会津消防署救急隊による講話や施設見学を通して、南会津地域の救急情勢や医療機関、行政機関との連携について学ぶ。

【内容】

1 塩入博文警防課長あいさつ

2 庁舎見学

・荒井 武夫 救急係長（指導救命士）

◎荒井様に庁舎内をご案内いただき、普段見ることのできない設備・車両や、実際の出動の様子などをその場で見学しました。

3 荒井救急係長による講話

◎「南会津消防本部救急体制」のテーマで講話をいただきました。医療機関や行政との連携状況、スムーズな救急搬送への取り組みについて説明をいただきました。



参加者の声（アンケート等より）

- ・南会津の広大な地域において、消防も救急もオールマイティに行い地域の安全を支えているのはすごいと思った。
- ・南会津地域の消防と医療機関との連携の強さに驚いた。異なる立場から、救急と医療が協力して地域医療を形作っているのだと実感した。
- ・様々な工夫によりスムーズな出動をできるようにして、地域を支えていることが分かった。
- ・普段見ることのできない設備や、実際に出動する現場を見学でき、貴重な経験になった。

1 1 南会津病院 医師による講義・症例検討

【 日 時 】 8月25日（金） 10：00～12：20

【 場 所 】 福島県立南会津病院

【 目 的 】 南会津地域で地域医療に取り組む医師による講話を通して、南会津地域における医療の現状や、医師・病院の役割及び他関係機関との連携について理解を深める。

【 内 容 】

1 松井遵一郎病院長あいさつ

2 医師による講義

・講師：南会津病院 科部長 佐竹 秀一 医師

◎南会津地域の医療の現状について、医師数や診療科の偏在、また救急医療体制の観点から説明をいただきました。

◎ご自身の医師を目指したきっかけやキャリアを通して、地域医療で求められる医師の役割について説明をいただきました。

3 症例検討

・講師：南会津病院 科部長 佐竹 秀一 医師

◎地域医療における患者の事例をもとに、学生との意見交換を行いました。また、この事例について主治医意見書をどのように記入すれば良いか演習しました。



参加者の声（アンケート等より）

- ・佐竹先生のお話を聞いて働き方のイメージが湧いた。面白く大変勉強になった。
- ・他職種間の連携は重要だが、連携をしやすくする関係づくりを普段から積み重ねていくことが大切である感じた。
- ・消防署からの流れで、受け入れ側の目線から救急医療の取り組みを学ぶことができて良かった。搬送のたらい回しはほぼ無く「会津は断らない」という言葉が印象に残った。
- ・初めて主治医意見書を書いてみたが、どこまで記入すべきか悩みながら作成した。

1 2 研修のまとめ・発表

【 日 時 】 8月25日（金） 12：20～14：00

【 場 所 】 福島県立南会津病院

【 目 的 】 事前に提示されていたテーマを基に、地域医療体験研修に参加して感じたことなどを一人ずつ発表し、学びを共有する。

【 内 容 】

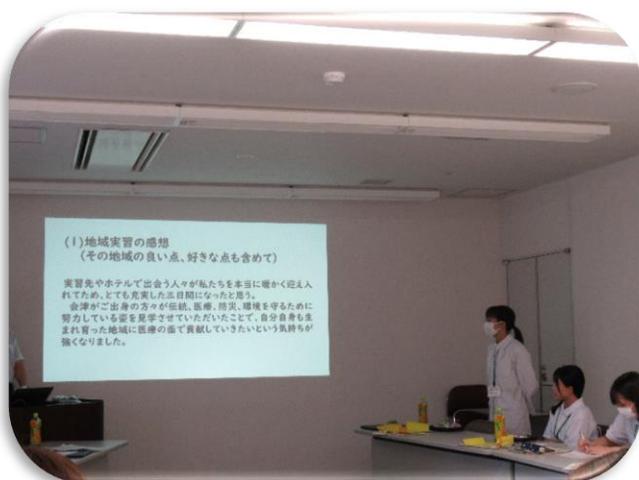
◎3日間の研修を通して、下記のテーマについて考えたことを学生一人一人が発表しました。最後に佐竹秀一医師から助言・激励をいただきました。

〈テーマ〉

- ①今回の研修の感想（地域の良い点好きな点を含む）
- ②地域医療を担う医師に求められる資質・能力
- ③今回の研修を通して考える医学部卒業までに備えるべき能力

〈座長〉福島県立医科大学 地域家庭医療学講座 菅家智史 講師

〈助言〉南会津病院 科部長 佐竹秀一 医師



参加者の声（アンケート等より）

- ・3日間の思い出を全員で共有できて良かった。
- ・他の参加者の発表を聞いて、より自分の目指す医師像に必要な能力が明確になった。
- ・自分では思いつかないような角度からの考え方に気づくことができた。
- ・自分の考えをまとめる時間がもう少し必要だった。

13 南会津病院 施設見学

【日時】 8月25日(金) 14:00~14:30

【場所】 福島県立南会津病院

【内容】 佐竹秀一医師にご案内をいただき、院内の見学を行いました。



14 研修の感想・アンケート集計結果

〔感想①〕

会津地域の魅力を存分に味わうことができた。普段の大学生活では学ぶことができない内容を体験することができてとても良い経験になったし、自分の将来のビジョンを考える経験になった。

〔感想②〕

会津の医療の現場では、健康増進のための取り組みや他職種間の連携、医師と患者の信頼関係の作り方など、地域医療において重要な学びが多く、自分の目指す医師像が明確になった。

地元の方々とのあたたかな交流、美味しい食事に豊かな自然など会津の良さを体験でき充実した3日間だった。

〔感想③〕

3日間の研修、本当に楽しく過ごすことができ、とても良い思い出になった。

会津は食べ物も美味しく、自然も美しく、人もあたたかく、本当に良いところだった。大学ではできない貴重な経験をして、今後の進路を考える上で参考になるようなことばかりだった。

プライベートでも、将来医師になってからでも、また是非会津を訪れたい。

〔感想④〕

会津の医療についてだけでなく、地域の食文化や自然、様々な関係機関や他職種の連携について学べたことが良かったし、これら全てが地域医療を支えることに繋がっていると思った。地域医療について興味を持っていたので、これからも楽しく学んでいきたい。

〔感想⑤〕

実習先や宿泊先など全ての方があたたかく迎えてくださりとても嬉しかった。

訪問診療への同行というめったにない経験をしただけでなく、伝統・消防・環境の面でも会津地域を学ぶことができて良かった。

この研修で学んだ経験を活かし、正しい医学の知識、コミュニケーション能力、思いやりを兼ね備えた医師になりたい。

〔感想⑥〕

普段は座学ばかりだが、実際の現場を体験でき大変刺激的な3日間だった。

会津の方の優しさや食べ物のおいしさは、この地域に暮らしてみたいと思わせてくださり、在宅医療センターや南会津病院での経験では、この地域で医師として働く意義を学んだ。

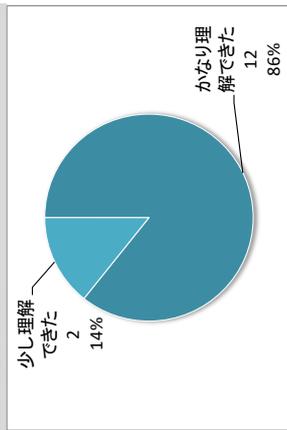
低学年のうちからこのような機会を設けることで、地域医療に従事したいという思いを持つ学生は増えると思う。

会津・南会津コース ポストアンケート集計結果

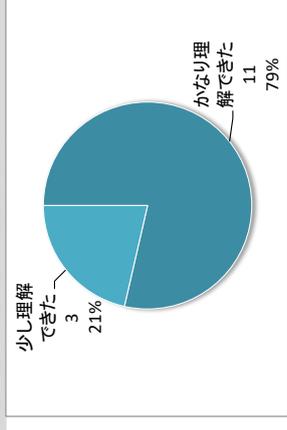
(アンケート回答者14名／参加者14名)

令和5年度

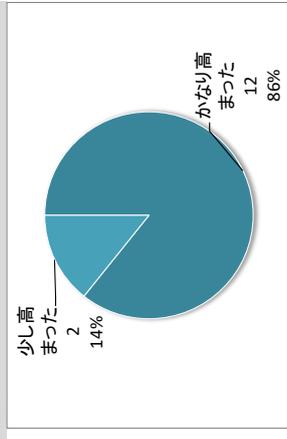
(1) 会津・南会津地域の地域医療の実態を理解することができましたか。



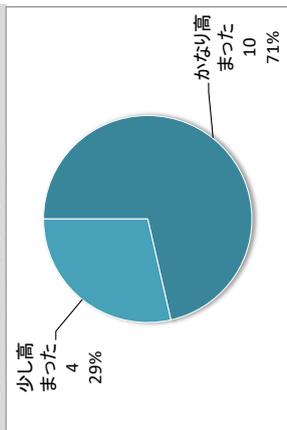
(2) 会津・南会津地域の文化や住民の生活の実情などを理解することができましたか。



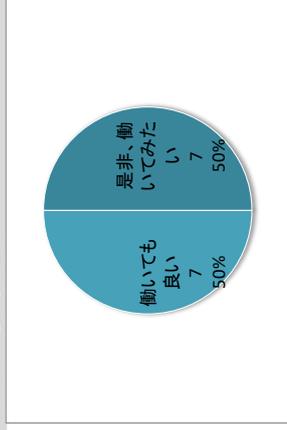
(3) 地域医療に関する関心は、以前よりも高まりましたか。



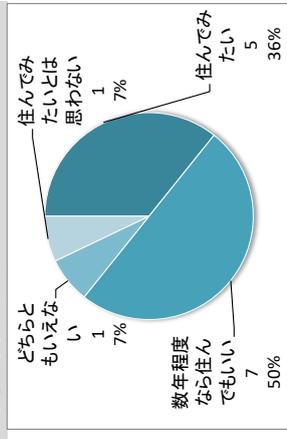
(4) 将来、医療過疎の地域での医療に関わりたいという意識は、以前よりも高まりましたか。



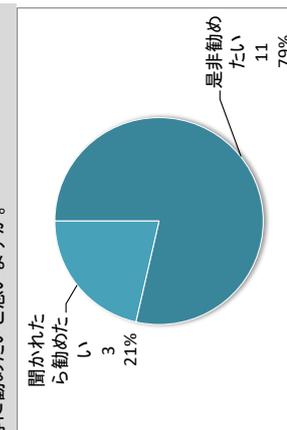
(5) 今回訪れた地域で、将来、機会があれば、働いてみたいと思いますか。



(6) 今回訪れた地域に、将来住んでみたいという気持ちを持ちましたか。



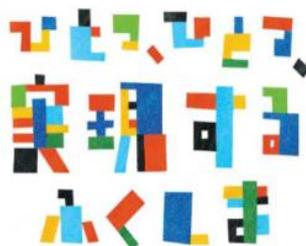
(7) 地域医療体験研修(会津・南会津コース)を後輩等に勧めたいと思いますか。





地域医療体験研修 報告集

令和5年9月13日 発行



福島県会津保健福祉事務所
福島県南会津保健福祉事務所
総務企画部 総務企画課
電話番号 0242-29-5506
F A X 0242-29-5509
aidu.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp